

オーバードホール(富山駅北地区公開空地)の石材

オーバードホールの2階の富山駅北公開空地には2種類の大理石と1種類の石灰岩が床材や壁材として使われています。真っ白で光る粒が見えるのがタソスホワイト(ギリシャ産)という大理石、ピンク色で流れるような縞模様のあるのがブレッチアオニチアータ



(イタリア産)という大理石です。この2種類は、何れも強い変成作用を受けているためか化石は見つけれませんでした。

もう1種類の石材はジュライエロー(ドイツ産)で、大理石ではなく石灰岩です。この石灰岩は熱による変成作用を受けていないので化石の保存状態も良く、多数の化石の断片を観察することができます。ウミユリの柄やウニの仲間などが断片化してはいますが、はっきりと見て取ることができます。



※上の画像は、富山駅北地区公開空地管理者の承諾を得て撮影し掲載したものです。